

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2022.4.20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		広いスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		入口はスロープが設置されている。室内に段差はない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	1	職員会議にて業務内容について確認を行っているが、PDCAのように機能していない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	1	アンケート結果について職員会議で周知をしているが、業務改善が十分できたとは言えない。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		法人HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		第三者評価は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	法人内部研修、外部研修への参加を行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		全利用者に対し、利用開始時にアセスメントを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	1	統一したアセスメント表を用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	どちらかという、職員が個別で立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		1	プログラムの担当を固定せずに柔軟に対応している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	1	児童の特性、環境によって違うので細やかに設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		子どもの適性に合わせ、その都度、個別活動、集団活動を分けて実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎朝、ミーティングを実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		全職員が揃うことは難しいが、記録をつけながら振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			子どもの様子を観察し、成長に繋がったところや継続的に支援が必要なところを検証し、次回以降の支援に活かしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			半年に1回以上、保護者と面談を行い、モニタリングを実施している。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2		学習、創作活動、遊び、外出などを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		児童発達支援管理責任者もしくはケース担当が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1		下校時間、送迎時間等について連絡を取り合っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	現在、受け入れはしていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		保護者を通じて情報共有しているケースもあるが、十分とは言えない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		実施出来ていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	民間の教育機関から、定期的(概ね月1回)に学習支援の助言を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	2	交流の機会は設けていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	年3回の事業所連絡会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		普段から連絡帳、メール、電話などで児童の様子を伝えるように務めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	2	実施出来ていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		利用契約時に、契約書、重要事項説明書等で説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		保護者からの学校や友達関係についての相談に対し、必要な助言と支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	1	感染症対策の為、令和3年度は保護者会の開催は実施出来ていない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		普段からコミュニケーションを保護者にとるようにして、小さなことでも伝えていただいている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	1	年3回、法人の会報を発行している。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	1		個人情報に関する書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2		手話や筆談を用いている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	1	実施出来ていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		マニュアルは策定しているが、保護者への周知は不十分となっている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			月1回、避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		年1回以上、虐待防止に関する研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		令和3年度に身体拘束に関する指針を法人として策定し、個別支援計画への反映を実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		保護者から情報に基づいた対応を実施している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			毎月、ヒヤリハットを取りまとめている。